

輸

五年 筆順 16
クン オン ユ 車 車 輸 輸

成り立ち



會(年96)の意味の「ハ」と、「舟」の意味の「月」と、川の流れを表した「リ」とを組み合わせて作った「輸」は、「川に舟が集まり会う」という意味の字です。中国では、「南船北馬」と言って、山道の多い北では馬が使われ、川の多い南では船が交通に使われました。それで、「舟」は、「舟で物を運ぶ」ことを表しました。

「輸」は「車」で物を「運ぶ」という意味の字です。今では、車にも舟にもかんけいなく、「物を運ぶ」意味に使います。

「クハ」は「ハ」で、「ハ」(今の衆の本字)や「蟲」(今の集の本字)を符合化した字である。

余

五年 筆順 7
クン オン ヨ あま いる 日す

成り立ち

家(人)の形を表した「ハ」と、「十分」という意味の「十」と、「分ける」ことを表した「ハ」(分年21)とを組み合わせて作った字です。

「家に十分にあるものを分ける」という意味の字で「あり余る」という意味を表したものです。

「余る」こと。「のこる」こと。

〔旧字体は「餘」で、「食」と「余」との会意・形声字である。「食べ物を分ける」意味の字である。食べ物を分けるのは、それが、「余る」か「残る」かしているからである。〕

使い方

▽物を輸送するには、色々な乗り物がかかります。車や電車、舟、飛行機など、必要に応じて、色々な手段で輸送されます。国外に輸送することを輸出といいます。この時は主に船が使われますが、早く輸出しなければならぬ時は飛行機が使われます。

▽わたしのおかあさんは、手術をしました。その時、大量の血液を失って、輸血を受けました。大勢の人が献血してくれましたので、無事、手術は成功しました。わたしも、大人になったら、献血したいとおもいます。

熟語例

- ▽輸送(人や品物を運ぶこと。)
- ▽輸出(外国へ品物を送り出すこと。)
- ▽輸入(外国から品物を運び入れること。「日本はおどろくほどたくさん品物を輸入しています」などというふうに、つかいます。)
- ▽輸血(手術などで、患者の血管に血液を送り込むこと。)
- ▽密輸(輸入を禁じられている物や、税金を課せられるものを、法を破って、こっそりと輸入すること。)

使い方

▽わたしのおばあちゃん、わが家が今のようによいのは、ご先祖の余徳だとよく言います。ご先祖様たちが曲がったことをせず、一生懸命はたらいて、人にも良いことをしたために、子孫のわたしたちが幸福にくらせるのだというのです。だから、わたしたちも、ご先祖様を見習って、しっかり生きていって、わたしたちの子孫に、立派なお手本を示したいと思えます。

▽今は、昔にくらべて、余暇がふえました。休みの日もふえたし、働く時間も減りました。そこで、どういふふうに余暇を過ごすかが問題になります。疲れを取るのも大事ですし、何か楽しいことをするのも良いです。

熟語例

- ▽余徳(ある人の徳のある行いのおかげで、その人の死後もほかの人に及ぶめぐみ)
- ▽余暇(仕事をしないで良い、余った時間)
- ▽余裕(余った残り。ゆとり。「朝ねぼうをしたので、朝飯を食べる余裕がない」などというふうに、つかいます。)